

単元の目標

- (1) 人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解するとともに、現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解することができる。
- (2) 社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、さまりの役割について多面的・多角的に考察したことを説明することができる。
- (3) 現代社会の見方・考え方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 社会生活におけるさまりの意義について調べる。</p> <p>★社会の一員として生きる私たちにとって、なぜきまりが必要なのだろう。</p> <p>○地域の公園づくりについて考える。</p> <p>○社会と私たちとの関わりについて調べる。</p> <p>○さまざまな個性をもった個人が集まって社会生活を営むために必要なことを話し合う。</p> <p>・社会にはさまざまな人がいるので、互いに尊重し合って生活するためにはきまりが必要だ。</p> <p>○社会生活ときまりについて、理解を深める。</p> <p>○単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>●私たちは、現代社会をどのようにとらえていけばよいだろうか。</p> <p>2 「対立」と「合意」について考える。</p> <p>★社会での「対立」を解消し、「合意」するためには、何が必要なのだろう。</p> <p>○なぜ対立が生まれるのかを考える。</p> <p>○対立を解消し、合意するための方法について知る。</p> <p>○合意をするために大切なことは何かを考える。</p> <p>3 「効率」と「公正」について考える。</p> <p>★「効率」と「公正」の考え方とは、どのような考えだろうか。</p> <p>○「効率」と「公正」の考え方について調べる。</p> <p>○「効率」と「公正」について、理解を深める。</p>	<p>・教 P. 24～27</p> <p>・社会の在り方やさまりの意義について、個人の尊重に着目して追究させる。</p> <p>(個人の尊重)</p> <p>・公園づくりについて考える活動を通して、学習の見通しを立てさせる。</p> <p>・家族については、当たり前の存在であるが故にその意義や課題に気付きにくい。社会の基礎単位であることを踏まえどうあるべきなのかを、教科書の記述を基に考えさせたい。</p> <p>・「アクティビティ」に取り組ませ、きまりにも性質の違うものがあることに気付かせる。</p> <p>【評】よりよい社会生活を営むために必要なことを話し合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教 P. 28～29</p> <p>・対立と合意の考え方や、合意する方法としての多数決の意義と課題について追究させる。</p> <p>(対立と合意)</p> <p>・社会はさまざまな利害関係で形成されており、意見や利害の違いによって問題や紛争が起こることに気付かせる。そして、それこそが「対立」であることを捉えさせる。</p> <p>・「アクティビティ」に取り組ませることで、対立と合意を身近な問題として捉えさせる。</p> <p>・「アクティビティ」の内容を踏まえ、さまざまな合意方法があり、それぞれによさや難点があることに気付かせる。</p> <p>【評】対立を解消し合意するための方法について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 30～31</p> <p>・効率と公正の考え方や、公正な社会とはどのような社会なのかについて追究させる。</p> <p>(効率と公正)</p> <p>・資料を基に、日常生活に置き換えて考えることで意味を捉えやすくする。</p> <p>・「アクティビティ」に取り組ませることで、日常生活のさまざまな場面でこの考え方が活用できることを感じ取らせる。</p>

<p>○ 公正な社会をつくるために大切なことを知る。</p> <p>4 きまりを守る責任と評価について考える。 ★私たちはどのようなときにきまりを変更できるのだろう。</p> <p>○ きまりの評価と変更について知る。</p> <p>○ きまりの評価と変更について、理解を深める。</p> <p>○ きまりを守る責任と契約について知る。</p> <p>5 単元のまとめをして、学習を振り返る。 ★単元のまとめをして、自分の考えを見直そう。 ○ 語句の意味を確認する。</p> <p>○ 単元の学習問題について自分の考えをまとめる。</p> <p>○ グループで意見交換をする。</p> <p>○ 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合意する際には、「効率」と「公正」から多面的に判断することや、さまざまな立場から多角的に考えることが大切であることをつかませる。 【評】現代社会の見方・考え方の基礎として効率と公正について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 教 P. 32～33 ・ 対立と合意、効率と公正の考え方や、きまりを評価する視点を使い、きまりの在り方について追究させる。 (対立と合意、効率と公正) ・ きまりとは、自らの行動や権利を制限・拘束するものと捉えがちであるが、きまりを守ることによってそれぞれの権利や利益、安全が保障されることに気付かせる。 ・ 「アクティビティ」に取り組ませ、きまりの変更について五つの視点から多面的・多角的に評価させることで、習得した知識を活用させる。 【評】きまりの変更について五つの視点から多面的・多角的に評価する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ これまでの学習内容を整理し、これらを現代社会の見方・考え方の基礎となる「契約」という概念として捉え直させる。 ・ 教 P. 36～37 ・ 既習事項の知識について確認させ、整理させる。 ・ マトリックス（表）を活用して、考えを整理させる。 ・ 級友の意見を参考に、自分の考えを見直すことで、考えを再構築させる。 【評】単元の学習問題について振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
--	--

【 備 考 】